

日本性科学会 ニュース

第34巻 第4号

平成27年(2015年)12月

発行人: 大川 玲子 印刷所: (株) 紹文社

2016年研修会・学術集会・研究会予告

第10回日本性科学会近畿地区研修会

日 時: 2016年2月14日(日) 13:00~

場 所: あべのハルカス25F 会議室C・D 天王寺駅、阿部野橋駅、空港バス直結

予定単位: 日本性科学会5単位 日本産婦人科学会専門医 大阪医師会受講証明

テー マ: 将来を見据えた中高生への性教育

プログラム(予定)

演者

大阪府立大学

東 優子

先生

長野赤十字病院

天野 俊康

先生

浜松聖隸病院

今井 伸

先生

泉大津市民病院

西尾 順子

先生

参 加 費: 一般 5,000円 学生 1,000円

担当理事: 大阪府立大学 石河 修

連絡先: 森村 美奈 TEL 06-6645-3797 (総合医療センター)

第45回セックス・カウンセリング研修会

日 時: 2016年5月22日(日)

場 所: 東京慈恵会医科大学西新橋校(東京)

* 昼休みに2016年度日本性科学会総会を開催致します。

第36回日本性科学会学術集会／第17回性科学セミナー

日 時: 2016年9月17日(土) 第17回性科学セミナー／2016年9月18日(日) 第36回日本性科学会学術総会

場 所: 長野赤十字病院 基幹災害医療センター

〒380-8582 長野市若里五丁目22番1号 TEL 026-226-4131(代表) FAX 026-224-1065

JR長野駅東口より約1.8km バス7分、タクシー5分、徒歩30分

会長: 天野 俊康 長野赤十字病院第一泌尿器科部長

テー マ: 地域に根ざした性の健康を考える

特別講演: 「性科学から Men's Health をひも解く」(仮) 川崎医科大学泌尿器科学教授 永井 敦

会長講演: 「泌尿器科医として性科学へ関与できること」

シンポジウムI: 「地域活動での思春期教育再考」

シンポジウムII: 「地域に根ざした男性学(アンドロロジー)の診断と治療」

一般演題

懇親会 (日本性科学連合第17回性科学セミナーと合同): 2016年9月17日(土)

長野赤十字病院 基幹災害医療センター

第36回日本性科学会事務局 〒380-8582 長野市若里五丁目22番1号

長野赤十字病院泌尿器科 担当: 天野 俊康

TEL 026-226-4131(代表) FAX 026-224-1065

E-mail: jsss36@nagano-med.jrc.or.jp

症例研究会

日 時: 2016年1月20日(水) 18:30~20:30 ※3月の日程については、発表者の都合で変更になる可能性があります。ご参加希望の方は事務局にお問い合わせ下さい。
3月31日(木) 18:30~20:30

Vol. 34

日本性科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

TEL・FAX 03-3868-3853

No.
4

性機能不全の評価尺度について

東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース 石丸 径一郎

今回の症例研究会では、性機能不全を測定する自記式評価尺度のうち日本語で利用できるものを集め、報告した。

表 各診断基準における性機能不全のおおまかな対応

	ICD-10 (1992)	DSM-IV-TR (2000)	DSM-5 (2013)
性 欲 相	性の嫌悪および性の喜びの欠如 Sexual aversion and lack of sexual enjoyment	性嫌悪障害 Sexual Aversion Disorder	—
性 欲 相	過剰性欲 Excessive sexual drive	—	—
性 欲 相	性欲欠如あるいは性欲喪失 Lack or loss of sexual desire	性的欲求低下障害 Hypoactive Sexual Desire Disorder	女性の性的関心・男性の性欲低下障害 興奮障害 Male Hypoactive Female Sexual Interest/ Arousal Disorder
興 奮 相	性器反応不全 Failure of genital response	女性の性的興奮の障害 Female Sexual Arousal Disorder	勃起障害 Erectile Disorder
オ ル ガ ズ ム 相	オルガズム機能不全 Orgasmic dysfunction	女性オルガズム障害 Female Orgasmic Disorder	女性オルガズム障害 Female Orgasmic Disorder
オ ル ガ ズ ム 相	早漏 Premature ejaculation	男性オルガズム障害 Male Orgasmic Disorder	射精遅延 Delayed Ejaculation
オ ル ガ ズ ム 相	非器質性膣けいれん Nonorgasmic vaginismus	早漏 Premature Ejaculation	早漏 Premature (Early) Ejaculation
その 他	非器質性性交疼痛症 Nonorgasmic dyspareunia	膣けいれん Vaginismus	性器-骨盤痛・挿入障害 Genito-Pelvic Pain/ Penetration Disorder
		性交疼痛症 Dyspareunia	

女性性機能の評価：

- FSFI (Female Sexual Function Index) 2000年にRosenらが開発したものを、Takahashiらが翻訳し標準化した。性欲、性的興奮、膣潤滑、オルガズム、性的満足、痛みの6つを評価する19項目からなる。
- SFQ (Sexual Function Questionnaire) 2002年にQuirkらが開発した34項目版を、大川らが翻訳し標準化した。性欲、感覚的性興奮、身体的性興奮、楽しみ、オルガズム、性交疼痛、パートナー、認知的性興奮を測る。

男性性機能の評価：

- 國際勃起機能スコア (IIEF, IIEF5, SHIM) 1997年にRosenらが開発した15項目版と、5項目の短縮版がある。木元らによる新しい邦訳版が利用可能である。性欲、勃起機能、オルガズム機能、性交の楽しみ・満足、性生活の全般的満足感を評価する。
- 勃起の硬さスケール (日本語版EHS) Mulhallらによって2007年に妥当性が確認された1項目5件法の簡単な尺度である。
- Aging males' symptoms (AMS) スコア／Androgen deficiency in aging males (ADAM) 質問紙 男性性機能不全に関連の深いLOH症候群を測定するための、それぞれ17項目、10項目の評価尺度である。

男女双方に利用できそうな評価尺度：

- ・性嫌悪スクリーニング質問票 2015年に尾崎らが開発した4項目の評価尺度である。

これらの評価尺度は、男女間のペニス－膣性交を念頭に置いているが、それ以外の多様な性行動が存在する。男女や性器にとらわれず、何を何に挿入したいのかを整理し(挿入する側:ペニス、指、舌、ディルド等／挿入される(包み込む)側:口腔、膣、肛門、手等)、使用できる尺度を部分的に適用することが可能だろうと考えられる。実際に男性同士の肛門性交について、受け側男性の性機能をFSFIで評価した研究も存在する。

第6回世界性の健康デー東京大会

若者世代にリプロヘルスサービスを届ける会（Link-R）代表
柳田正芳

2015年9月6日(日)、第6回世界性の健康デー東京大会を、100名以上のご来場者を迎えて開催した。場所は東京・四谷のルーカホール。

2階は約140名収容のメインホールで、まず10:00～12:00にシンポジウム「性の健康から考える日本の貧困」を開催。司会にルポライターの亀山早苗氏を、パネリストに産婦人科医の秋元義弘氏、生活困窮者支援NPO代表の藤田孝典氏、臨床心理士で大学教授の福島哲夫氏を迎え、パネリスト各氏のミニ発表とシンポジウムを実施した。朝一には重いテーマだったが、「性の健康」の視点から「貧困」という時代の課題に逃げずに向き合った。13:00～14:30はトークセッション「未来の性教育」。最近20年の性教育を振り返りこの先10年の性教育を考える、学生団体代表のトークセッションである。進行役に産婦人科医の種部恭子氏、パネラーに内藤ゆりか氏(思春期保健委員会)、山瀬氏(メディコロル)、西出博美氏(ぱぱとままになるまえに)、齋藤恵理子氏(SCORA)の各氏を迎えた。若い感性が光る90分であった。14:40～15:30は、世界性の健康デーを提唱したWAS(世界性の健康学会)の、性の権利委員会共同委員長Tommi Paalanen(トミ・パーラネン)氏による特別講演「北欧フィンランドの性と健康と教育」を開催。通訳を東優子氏(大阪府立大学教授/WAS性の権利委員会共同委員長)にお願いした。16:10～17:00はゆるトークセッション「日本の住宅事情と性の健康」。「日常の身近なもの×性」を取り上げるため、「住宅×性」をテーマとした。司会に赤谷まりえ氏(ライター・編集者)、登壇者に西川一幸氏(建設会社専務取締役)、西郷理恵子氏(東邦大学医学部医学科客員講師)、松本憲彦氏(団体職員)、佐藤要子氏(行政保健師)の各氏を迎え楽しいトークが展開された。

3階では、NPO法人JASH日本性の健康協会が10:30～12:00「学校現場におけるLGBTサポート研修」13:00～14:30「おしえてうっちー先生！おちんちんのこと」15:00～16:30「直撃！AV界のレジェンド『太賀麻郎』を囲む会」と3つのトークセッションを行った。また、株式会社リプロエージェント、性と健康を考える女性専門家の会、多様な性にYES！の各団体がブースを出展した。

世界性の健康デーは今年6年目。東京大会は日本に性の健康を根付かせるべく第1回から参加している。来年以降も応援いただければ嬉しく思う。

最後に、ご来場いただいたみなさまとお力添えを賜ったみなさまに厚く御礼申し上げたい。どうもありがとうございました。

2016・2017年 日本性科学会理事選挙に関する告示

理事選挙管理規程に従い、2016・2017年度の理事の立候補を受け付けます。

立候補希望者は事務局にお申し出下さい。必要書類を郵送します。

尚、ブロックについては、第4回総会の承認に基づき、全国1ブロックとします。

1. 定 員 10名以内
2. 立候補資格 2015年12月末日現在、入会後満3年を経過し、会員5名によって推薦された正会員
3. 立候補締切 2016年2月15日
4. 申し出先 〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 日本性科学会選挙管理委員会
TEL・FAX 03-3868-3853

2015年12月20日

日本性科学会選挙管理委員会 委員 大谷眞千子 花村 溫子
今井 伸 石丸径一郎

選挙日程

理事当選者発表 3月(候補者が定員を上回る場合は会員の投票による)
新理事の総会承認 5月(予定)

以 上

資格認定委員会より

日本性科学会副理事長(認定制度担当) 阿部 輝夫

日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」資格認定規定、並びに更新規定(日本性科学会雑誌に掲載)に基づき、2015年度の新規資格認定並びに更新資格認定を行いました。厳正なる審査に結果、以下のように新規セックス・カウンセラー1名、更新セックス・セラピスト10名が認定されました。

新規認定

セックス・カウンセラー 藤井 祐美

更新認定

セックス・セラピスト 真名瀬賢吾 堀口 貞夫 早乙女智子 阿部 輝夫 野末 源一
田中 奈美 福本由美子 堀口 雅子 及川 卓 今井 伸

来年度も新規認定、並びに更新認定(2011年資格取得者が該当)の手続きが行われます。申請を希望される方は、日本性科学会雑誌2015 vol.33 no.1掲載の資格認定規定並びに資格更新規定を御熟読の上、ご準備をお願い致します。特に、学術集会・研修会などに御出席の受講証・出席証は、必ず御保管下さい。

申請の詳細は、2016年6月発行のニュースに掲載されます。

第14回AOFS (Asia Oceania Federation for Sexology) 国際会議のお知らせ

会 期：2016年3月31日～4月3日

開催場所：韓国・釜山 Commodore Hotel BUSAN

学 会 長：Prof.Nam Cheul Park: Department of Urology, Pusan National University School of Medicine

国際学会の概要、団体登録(割引料金)、学会ツアー、若手性科学者への奨学生(AOFS Japan主催)など、日本からの参加者向け記事、各種申込書が以下にあります。<http://www.jfs1996.jp>

当該学会は http://www.aofs2016.org/register/2016_spring/intro.html

AOFSのWEBは <http://www.aofs-asia.org>

(文責：大川玲子)

正誤表

ニュース9月号2頁のタイトルおよび見出しにおいて、下記のとおり誤りがございました。
内容を訂正するとともに、お詫び申し上げます。

(誤) TENGA紹介と医療・教育領域における可能性の模

(正) TENGA紹介と医療・教育領域における可能性の模索